

博士論文内容の要旨及び博士論文審査結果の要旨

氏名(生年月日)	竹田 裕子	(****年**月**日)
本籍	*****	
学位(専攻分野)	博士(保健看護学)	
学位授与番号	甲第152号	
学位授与日付	平成30年3月14日	
学位授与の要件	学位規程第3条第3項該当	
論文題目	中山間地域において生活を営む高齢者の下部尿路症状に関する研究	
審査委員	教授 伊東 美佐江	教授 竹田 恵子
	教授 中新 美保子	

博士論文内容の要旨

本論文は、高齢者の下部尿路症状の実態や支援の現状について概観したのち、高齢化率の高い中山間地域で生活を営む高齢者の下部尿路症状の実態、夜間頻尿にもなう生活への影響と夜間頻尿に関連する要因を明らかにし、中山間地域において、下部尿路症状のある高齢者に対する看護への示唆について言及したものである。第Ⅰ章では、国内外の文献をもとに、比較的自立して生活を営む高齢者の下部尿路症状の実態や支援の現状について論説した。第Ⅱ章では、高齢者の抱える下部尿路症状の実態、下部尿路症状と主観的健康観との関連、および排尿の気がかりと受診行動について明らかにした。第Ⅲ章では、夜間頻尿にもなう生活への影響と複数回の夜間頻尿に関連する要因について、明らかにした。以上の結果をふまえ、性差を考慮し、症状が軽度なうちから、下部尿路症状に関する情報の提供を行うことや、夜間頻尿を含めた下部尿路症状と生活への影響について、高齢者と看護職がともに振り返ることのできるツールの検討や情報提供を、看護への示唆として言及した。

博士論文審査結果の要旨

研究結果から、高齢化率の高い中山間地域で生活を営む高齢者は複数の下部尿路症状をあわせもち、下部尿路症状のなかでも夜間頻尿のある人が多い実態と夜間頻尿にもなう生活への影響と夜間頻尿に関連する要因を明らかにし、中山間地域における下部尿路症状のある高齢者に対する支援を言及した。本論文は、限られた地域での調査であるが、夜間頻尿に関連する要因も探求した希少な研究であり、地域の特徴を踏まえた主要下部尿路症状スコアなどのツールの活用や情報提供への示唆に富んだ報告である。本論文は、論旨は一貫しており、高齢化率が高く、専門科が近隣にはないが、医療と保健の専門職の連携が効率よく図られ、A町という中山間地域の支援の方向性において活用できる点で優れている。また、博士学位論文発表会においても適切に回答がなされた。